鋼魂 IV
今回出番ナシ
ガーーーン

どれだけ時間が過ぎたってあの子は必ず帰ってきてくれる…
約束したから…私との約束をあの子が忘れるはずなんてない…
だから私は…
理解出来ないッ！

あのね
クォヴレー
それに前のパートナーとしてた訓練なのだから…
…確かに勝つために手段は選べないと訓練を組んだのは俺だ
だがこれではゼオラが…ッ
パートナーと呼吸を合わせるんはこれが一番いいんですって
ぎゅ
いいの　私の今のパートナーは
クォヴレーなんだし
スッ
クォヴレーはじっとしててくれればいいんだから
ギクッ
!
だめだゼオラ…ッ!
やめ…ッ
動かないで!
たぷ…

私ちゃんと貴方のパートナーになりたいの

力抜いてていいよ
しかしッ ゼ—セオラ!?
むにぃ
うあッ
は—
ごめんね あんまり上手じゃないと思うけど
ハァ
ハァ
ここまでするものなのか?
その—俺も何かした方が?
もしかして した事なかったッ こういうの
覚えていない たぶん
嬉しい
むにゃ
むにゃ
ッ!!

気持ちよくしてあげるね
ハア
ビクッ
ぐに…
～～～ッ!!
あッ
ハア
ハア
ニュッ
ニュブッ
育ったコレ…ほッ
ヌリュ
ヌリュッ
はむっ
あ…ゼオラッ

う…うぁ
…ッあッ！
ブル
ブル…
ん
ん
ぞくぞくッ
くそッ…
何…だ
これは…ッ
にゅぷッ
にゅぷッ
にゅぷッ
くッ…
ん…く
ジューッ
モゴ
おいゼオラー
そんな無理
しなくても――

!
ぶるんッ
ぷあッ
ゲホ
ゲホッ
ガタッ
大丈夫かッ
ゼオラッ
ゴホ
あ…ごめんね
平気！
ちょっと
びっくりした
だけだから
…もう
よすんだこんな事
ゲホ
だ…大丈夫
心配しなくても
ちゃんと
だめだッ！！
ケホ
ん
あ
ぐいッ
ぎゅ

やはり こんな事間違ってる! こんな事しなくても
他にもっと方法が あるハズだろう!?
だめよ クォヴレー
ス…
私達は 生き残らなくちゃ いけないの
でないと あの子を探しにも 行けないもの
ありがとう 心配してくれて
でも
私は 大丈夫だから
それにこんなに しちゃって
貴方の方が 辛そうだわ
ビクッ
ビクッ
!
しても いいよね…?
かぁ
ギシ
……

大丈夫
ちゃんと私から
ートするから
んッ
はぁ
ヌヌヌヌ
ね～ホラちゃんと
入るでしょ？
ゼオラ
苦しくないかッ
は…
平気ッ
も～少しだから
ぬぬぬぬ
ねえ～見て
クォヴレー？
はー
はー
貴方ので
一杯になってる～
プルプル
なッ何
言ってるんだッ!?

ダメ…
ちゃんと私の事見てくれなきゃ
相手をよく見て相手を感じて
きゅうっ
一つになる事を考えないと…
かあぁ
いや…だがッ！
そう…か
これは訓練…だったな
そう…よ
じゃあ
俺はゼオラに呼吸を合わせればいいんだなっ
うん
よしッ
わかった－
じゃあ動くからね私に合わせて

大丈夫
緊張しないで
ぬぶ
ゼオーラッ
あ
ぬ
ぬ
ぬ。。。ッ
は
ひあんッ
ヂュッ!!
!
あ
すごい
どんどん大きくなってる
ゼオラ
俺も動いていいか?
あ
ズチュ
ヌチュッ
たゆん
たゆん
うん いいよ 一杯して?
あ
んあ
ズン
ズン
ズン
んッ
ブチュッ

んあぁあぁあぁあんッ
ズパンッ
ズパンッ
あッ…スゴ…ッ奥…届いちゃうッ!!!
パンッ
あッ
ね…気持ちいい？私気持ちいいよ
…おいゼオラッー
これで俺達がパートナーになれたと言うなら
もうお前は死んだりしないぞ？
え…？
お前が俺のパートナーだと言うのなら

この先何があっても
俺がお前を
守ってやるから…
や…
俺がゼオラを
守るよ…
やだ…
何…言って…
ふるふる

俺は…お前が俺に
陵を重ねていようと
別に構わないんだ
はうッ
だがお前が
そんな哀しい顔で
自分を投げ出す様な
マネをするのは
耐えられない
俺達が
パートナーならば
お前の想いは
俺の想いだ…
クオ…ヴレー…
ズッ

もっと俺を頼れ
俺にも多分
お前が必要だから
ごめんなさい
…ありがとう
クォヴレー…
…ところで
ゼオラ？

この訓練は
このまま続けて
しまっても
構わないのか?
えッ!?
あ…ええっと…
ただ…出来れば
今度はちゃんと
俺の事を
見て欲しいんだが
も…もうッ
そんな事言って!
…なーんて事が
まさか
あったり
なかったり!?
?
ある訳
ないでしょーッ!!!
バカーッ
ちゃんちゃん

なんとなくお描きセレーナ。
すいません、ウォヴレー編で
手一杯で一（つД）

射精シーンが無かったとお嘆きの貴方へ

で…るッ！
ドクッ
ドクンドクン
あ♡はぁ
〜〜〜ッ♡
ふい〜
濃いの出たぁ
ドロッ
これにこりたら
浮気すんなよ♪
はー
ビクッ
ビクン
はー
デロォ〜〜ッ
はー
だから
誤解だってばぁ…
ゴプッ
ゴプン

あとがき。

毎度御馴染み
古泉のサークル桂偉堂でございます。
ああああああしかしこの本もっと早く出るはずだったのになー。
原稿入稿したのがすでに懐かしいくらいになってます('ω')
さて今回のメインはクォヴレー×ゼオラでございます。
でもやっぱり欲しいのでアラドもちょっぴり(笑)
楽しんで頂けたでしょうか？
またしても服構造が謎ワカメキャラだったので
テキトー解釈で上着脱がせてしまいました、(´A`)ノ
ダメ～すぎるなぁ。
えー、次回で一応スパロボ本は一区切りつけようと思っております。
今後の発行物に関しては
サイトで随時告知していこうと思いますので
どうぞ宜しくお願い致します。
ではまた来世～。

桐丸

エロくないのは罪ですか(´－ω－`)
なんだか中途半端な話になってしまって申し訳ないです。
なんとなく久保は美人にしたくて
気がついたらこんな感じになっちゃってましたよー。
もっとこうカツンとえっろーいの到達したいんですけどねぇ…。
ところで服構造も謎わからんですが
名前も最初覚える事が出来ませんで、
ネーム…ずっとクォボレーって書いてありました。
後でネーム打ちする時に最初の自分に騙されそうになるっていう。
最近出た飲み物のNUDAぐらい発音出来ないよぅ！
次の本も出来れば夏前ぐらいにはお届けしたいと思ってます。
原稿は無計画で進行してますので
お楽しみに－。
ではまた次回。

NIO